



第135期中間 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日





株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第135期中間株主通信(2025年4月1日から2025年9月30日まで)をお送りするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

代表取締役社長

大谷 祐介

|| 当中間期の取り組み・業績について

海運業においては、中国経済の減速や米国の関税政策により不確実性が高まる中、以下の取り組みを進めました。

大型原油タンカーでは、支配船腹を長期契約に継続投入し安定収入確保に努めましたが、一部船舶の入渠工事により稼働が減少しました。

ケミカルタンカーでは、基幹航路の数量輸送契約に加えスポット貨物を取り込む等採算確保に努めましたが、市況軟化の影響を受けました。

大型ガス船では、一部の大型LPG船が好市況を享受しました。また、前年度にLNG船を1隻売却したため稼働が減少した一方で当社初の大型エタン船が竣工しました。

ドライバルク船では、専用船の順調な稼働が安定収益確保に貢献し、ポストパナマックス型およびハンディ型を中心とする不定期船では市況回復を享受しました。

内航ガス船では、既存の中長期契約を中心に効率配船に取り組みましたが、運航船の入渠工事が重なった影響を受けました。近海ガス船では、既存の中長期契約に基づき収益を確保しました。

不動産業では、当社国内所有ビルのオフィスフロアは順調な稼働を継続し安定収益を維持すると共に、商業フロアにおいても入居率が高まり売上は回復傾向となりました。

以上の結果、売上高は611億円、営業利益は57億70百万円、経常利益は65億84百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は74億75百万円となりました。

現中期経営計画最終年度である2026年3月期の配当につきましては、株主の皆様への利益還元への更なる強化および資本コストや株価を意識した経営の実現のために、通期業績に対して配当性向40%を基準とした配当方針を決定しております。

当中間期末の配当金につきましては1株当たり24円とさせていただきます。期末配当金につきましては、上記方針に基づき1株当たり24円、通期で48円を予定しております。当社としては引き続き業績の向上に向けて努力すると共に、今後の利益水準および財政状態や、株主還元策を総合的に勘案して期末配当金について決定する予定です。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えできるよう精励いたしますので、引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Consolidated Financial Highlights

連結財務ハイライト

売上高

611億円
(前年同期比17.4%減)

営業利益

58億円
(前年同期比41.7%減)

経常利益

66億円
(前年同期比26.4%減)

親会社株主に
帰属する
中間純利益

75億円
(前年同期比22.4%減)



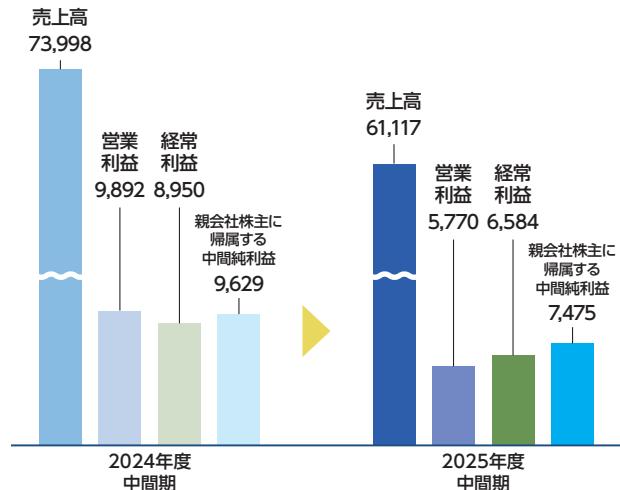
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



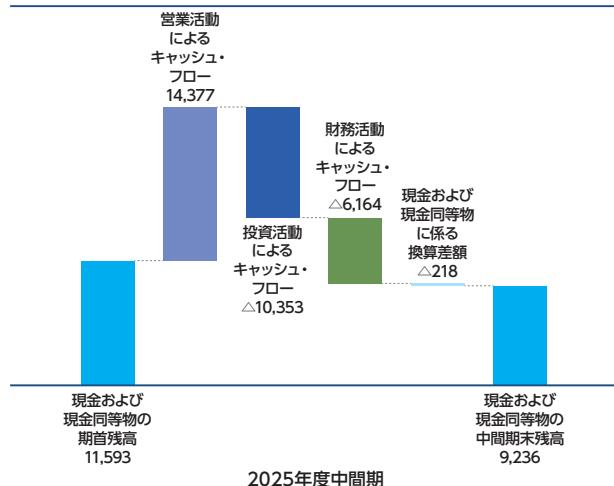
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



POINT

1 連結貸借対照表

総資産残高は前連結会計年度末に比べ、現金および預金が減少した一方で、新造船竣工による船舶の増加により4億83百万円増加し、3,069億15百万円となりました。負債残高は前連結会計年度末に比べ、短期借入金の返済等により36億29百万円減少し、1,571億58百万円となりました。

2 連結損益計算書

前年同期と比べて、大型LPG船市況は堅調に推移し、不動産業でも安定した収益を維持しましたが、ケミカルタンカー市況の軟化や、円高に推移した為替の影響を受けた結果、売上高は611億17百万円、営業利益は57億70百万円、経常利益は65億84百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は74億75百万円となりました。

当社初の大型液化エタン船(VLEC)「IINO INEOS VESTÁ」が竣工

当社がINEOS Europe AG社へ長期貸船するエタン二元燃料VLEC(Very Large Ethane Carrier:大型エタン運搬船)2隻の1番船「IINO INEOS VESTÁ」(以下、本船)が2025年9月にHD現代重工業株式会社にて竣工しました。2026年1月には2番船が竣工予定です。

本船はエタンを主燃料とする二元燃料主機を搭載しており、従来の重油専焼船と比べてCO₂排出量を大幅に削減することが可能です。エタンは天然ガスの主要成分の一つであり、プラスチックなど石油化学製品の原料であるエチレンを生産する際に使用され、従来のエチレン原料である原油由来のナフサよりも安価且つ環境にも優しいことから、注目されている化学原料です。

当社は中期経営計画「The Adventure to Our Sustainable Future」(計画期間:2023年4月~2026年3月)において、2050年までのカーボンニュートラル達成の目標を掲げており、その一環として次世代燃料への投資を積極的に進めています。これまで当社は、メタノールやLPGを燃料とする二元燃料船に加え、将来的にアンモニア燃料への切り替えに対応可能なアンモニアレディ船を導入しており、本船は当社にとって初のエタン二元燃料船として保有船隊に加わりました。当社は環境性能に優れた船舶の導入を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

■ 本船



本船には龍の姿が描かれており、当社グループの隣イノ・メディアプロ制作進行管理のもとデザインを制作しました。

■ 命名式の様子



本船概要

貨物積載容量…99,000m³ 総トン数…60,637トン 全長…229.97m 全幅…36.63m 船籍…リベリア 燃料…エタンおよび重油

1 飯野ビルディング「WELL認証 予備認証」取得

当社所有の飯野ビルディングが「WELL Building Standard™(以下、WELL認証)」の予備認証を本年8月に取得しました。

WELL認証は、建物の環境性能だけでなく、建物利用者の健康とウェルネスに配慮した空間づくりを評価する世界基準の認証制度です。同認証の最新基準である「WELL v2」において、本社オフィスを評価対象とした「WELL Certification™」、ビル共用部を評価対象とした「WELL Core™」の予備認証をそれぞれ取得しました。

当社では、働き方の多様化への対応、人的資本の強化を図るためオフィス全面リニューアルを実施し、本年5月に完了しました。「コミュニケーションの活性化や生産性向上に資する空間設計とした執務エリアおよび会議室エリア」や、「人と人とのつながりを重視したゆとりのあるラウンジスペース」、「従業員がリラックスした時間を過ごすための休息スペース(風呂の間)」の設置など、働く人の心身の健康を支える要素・工夫を各所に取り入れたことが高く評価され、予備認証取得に至りました。今後は「WELL Certification™」および「WELL Core™」の本認証において、最高ランクである「プラチナ認証」の取得を目指します。



2 飯野ビルディング イベントスペース「つながり広場・さんかく広場」開設

飯野ビルディング敷地内の一部エリアをイベントスペースとして、イベントや各種催し物への提供を開始しました。

対象となるエリアは、建物1階エントランスに面した天井高約12mの吹き抜け空間である「つながり広場」、地下1階共用通路内の結節点となる広場空間である「さんかく広場」です。飯野ビルディングや近隣で勤務されている方々を対象としたイベント、日比谷公園、官庁街エリアと関連したイベント、あるいは「イノホール&カンファレンスセンター」の催し物との連動など、さまざまな用途でのご利用を想定しています。

当社はビルと周辺地域の賑わいを創出するとともに、ビル新築時からのコンセプトである「100年先にも愛されるビル」を目指し、引き続きビルの付加価値向上に向けた取組みを進めてまいります。

■ つながり広場



■ さんかく広場



詳細は当社ホームページ(https://www.iino.co.jp/kaiun/service/estate/event_space.html)をご覧ください。

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝すると共に、当社株式の投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期にわたって保有していただくことを目的として株主優待制度を2020年度より導入しました。株主の皆様に対事業に対する理解をより一層深めていただき、当社株式をより長く継続保有していただくため、現行の株主優待制度を継続いたします。株主の皆様のご期待にお応えるために、今後も更なる成長を目指してまいりますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

対象となる株主様

毎年3月31日の株主名簿に記載された当社株式500株以上をお持ちの株主様を対象とさせていただきます。

株主優待のお届け時期

株主優待ポイントの進呈：2026年6月初旬(予定) ※商品との交換期間は2026年6月～2026年7月末の予定

株主優待の内容

保有株式数と継続保有期間に応じて、下表記載の「株主優待ポイント」を進呈いたします。株主様は、ポイントを利用して優待商品カタログの中から好きな商品をお選びいただき、交換していただくことができます。尚、施設改修工事に伴うイノホール休館(2026年7月1日～2027年3月末予定)のため、来年度の抽選優待によるイノホールでの落語・講談会へのご招待はございません。商品および抽選優待の内容につきましては決定次第お知らせいたします。継続保有期間の適用判定例については当社ホームページ(<https://www.iino.co.jp/kaiun/ir/stock/dividend.html>)をご覧ください。

株主優待ポイント表 (1ポイント=1円相当)	保有株式数 ^(注1)	継続保有期間 ^(注2)	優待①		優待②
	500株以上 1,000株未満	1年未満	カタログギフト商品 または 社会貢献活動への寄付 ^(注3) から選択	2,000ポイント	落語家オリジナル 手ぬぐい または 当社オリジナル商品を 抽選で贈呈
1,000株以上	500株以上を 継続1年以上	3,000ポイント			
	1年未満	4,000ポイント			
1,000株以上を 継続1年以上	8,000ポイント (複数選択可能 ^(注4))				

(注1)「保有株式数」とは、株主優待割り当て基準日(毎年3月31日)において、保有している株式数をいう。

(注2)「継続1年以上保有」とは、株主優待割り当て基準日である3月末日時点の株主名簿を含む、過去の3月末日および9月末日時点の株主名簿へ3回連続して記載されることとし、かつ、その期間中の株主名簿への保有記録が500株または1,000株を一度も下回らない場合を、それぞれ500株以上または1,000株以上として判定する。相続や株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算する。

(注3) 株主様からお預かりした金額と同額を当社からも寄与する予定。

(注4) 複数選択(8,000ポイント)例：①2,000円相当商品×4個、②3,000円相当商品×2個と2,000円相当寄付×1個、③4,000円相当商品×2個



配当方針・実績

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題として位置付けており、経営方針:IINO COMMITMENTにおいて株主の皆様へ「持続的な成長に軸を置いた経営で企業価値を向上させ、充実した株主還元を実施」することを約束しています。当社グループの配当方針は以下の通りです。

当社グループの配当方針

内部留保の活用による 企業成長

事業環境変化に即応するための事業基盤の維持強化および持続的な成長のための新規投資に必要な内部留保を確保・活用

株主重視の姿勢の明確化

配当額と企業成長を連動させ、適正で透明性のある利益還元を実施

継続的な配当の維持

安定収益を背景とした継続的な配当を維持

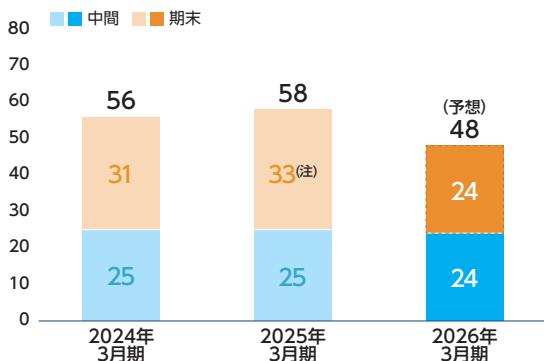
2026年3月期の配当については、株主の皆様への利益還元の更なる強化ならびに資本コストや株価を意識した経営の実現のために、現中期経営計画最終年度である2026年3月期の配当方針を従来の通期業績に対して配当性向30%を基準とした配当の継続から同40%に変更することを決定しました。

2027年3月期以降の配当方針については次期中期経営計画(2026年5月頃開示予定)策定時に再検討いたします。

(注) 2025年3月期末配当金の内訳は普通配当28円、特別配当5円です。

配当金

(単位:円)



株主総会資料の書面交付請求のご案内

2022年9月1日施行の改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。

当社は、これまで書面交付請求の有無に関わらず、株主総会資料を一律に書面でお送りしていましたが、本制度の周知の状況を考慮し、2026年6月開催予定の定時株主総会より、書面交付請求をされていない株主の皆様には簡易版の株主総会資料のみをお送りする予定です。

従来通りの株主総会資料のお受け取りを希望される株主の皆様で、書面交付請求のお手続きがお済みでない方は、お手続きが必要となりますので、下記株主メモに記載の三井住友信託銀行株式会社証券代行部(0120-782-031)もしくはお取引の証券会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

(注) 株主総会の基準日がお手続きの期限です。お手続きが間に合わなかった場合は、書面交付でのお渡しはその翌年の株主総会からとなる場合があります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで		株主名簿管理人および特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
定時株主総会	毎年6月開催		郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	電話照会先	TEL ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日および12/31~1/3を除く)
	期末配当金	毎年3月31日	公告の方法	電子公告 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行うこととします。 当社の公告はホームページに記載しております。
	中間配当金	毎年9月30日		

表紙イラストのご紹介



2024年竣工

米国ガラス木造7階建てオフィスビル
SOUTHSTONE YARDS OFFICE-B



2024年取得

ロンドン2棟目オフィスビル
111 STRAND



2011年竣工

飯野ビルディング



2021年竣工

日比谷フォートタワー



2025年竣工

大型液化エタン船(VLEC)
IINO INEOS VESTÁ



環境保全のため植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



地球のいのち、つないでいこう
環境配慮